かぬまスケッチ

みなさんの楽しい話題やおもしろい情報などを広報広聴係へどしどしご連絡ください。
☎(63)2128まで

2008 2/9 ～ 3/2

2/9 上都賀の伝統芸能が競演

市民文化センターを会場に第32回栃木県文化振興大会が開催されました。

鹿沼市では13年ぶりの開催で、記念式典のほか、上都賀ブロック文化協会員の協力により、鹿沼市の仕舞や小唄、また日光市川俣地区の三番叟などの伝統芸能が披露されました。

このほか、市文化協会員による書や総合工芸などの作品展示や茶会などが催され、1,100人を超える来場者が、上都賀地区の伝統芸能を堪能しました。

2/11 下粕尾常楽寺「録事尊大祭」

常楽寺で「録事尊大祭」が行われました。

録事尊は鎌倉時代に粕尾に生まれた名医中野智玄（なかのちげん）を祀（まつ）っており、毎年2月11日建国記念日に大祭が行われています。市内外からたくさんの人が参拝に訪れ、堂内では護摩法要が4回行われました。

また今でも、厨子（ずし）に入った木造の録事尊の地蔵が年中、粕尾の家庭を巡行しています。

2/16 ケナフで上手にできたかな?

加蘇地区コミュニティ推進協議会が、永野地区にある都市農村交流館において、大森芳紀さん(下永野在住)を講師に迎え、ケナフを使った紙漉き体験を実施しました。紙漉き体験は今回4回目で、元気なまちづくり事業として、環境に優しいケナフの栽培を行っています。

参加者は、小中学生など約50人。ケナフを冷たい水の中に入れ、スゲタという道具を使って、名刺やはがき、色紙などのサイズの紙を漉きました。中には、草花をきれいにあしらう中学生もいました。

2/16 小学生のEnglish speech

第3回かぬま小学生英語スピーチコンテストが開催されました。これは鹿沼東ロータリークラブが、未来をになう鹿沼の小学生に、自分を表現することの楽しさを体験してもらおうと開いたものです。

オープニングでは白雪姫の英語劇や英語の合唱が披露されました。コンテストには30人の子どもたちが緊張しながらも、すらすらと「Three Little Monkeys」などと身振り手振りで発表していました。驚きの小学生たちでした。「Well done!」

4月 おすすめイベント

城山つつじまつり

と　き　4月20日(日)～5月3日(祝・土)
ところ　城山公園(口粟野)

粟野城の跡地に造られた公園。散策コースや全長115mの「城山スカイローラー」は子どもたちに大人気。約2万株のヤマツツジやシャクナゲは4月下旬頃に見頃を迎える。

声の広報聞きませんか

広報広聴係　☎(63)2128　FAX(63)2292

毎号テープでお送りします。お気軽に、広報広聴係まで電話またはファックスでお申し込みください。

2/17 南押原地区住民100人でごみの一斉撤去

南押原地区自治会協議会と、きれいなまちづくり推進員南押原支部が、黒川河川に不法投棄されたごみの撤去作業を行いました。

作業を開始すると、あっという間に不燃ごみ1.5トン、可燃物ごみ2トン、処理困難物1.5トンが集まってしまいました。

参加した地域のみなさんは、あまりの多さに驚きの表情を浮かべ、「これからも続けないと地域の環境が守れないね」と、話していました。

2/17 木下航志さん力強い歌声で観客を魅了

木下航志さんは、鹿児島生まれの盲目の現役高校生シンガーソングライターです。国内外から多くの注目を集め、幅広い演奏活動をしています。

この日は、木下さんと鹿沼児童合唱団のポコ・ア・ポコの共演も実現し、「赤とんぼ」を聴かせてくれました。

会場のみなさんは、木下さんの透明感のある力強い弾き語りと、「どのお店の餃子がおいしいですか?」といった気さくなおしゃべりに魅了されていました。

2/28 行楽シーズンに向け準備万全!

自然体験交流センターで、炭の窯（かま）だし作業が行われました。交流センターを利用するみなさんがバーベキューなどで使用する炭は、センター内で間伐したスギなどを使い、地元のボランティアのみなさんが焼いています。

窯だしの作業はとても大変です。小さな窯（かま）の口から潜り込むとあっという間に煤だらけ。スタッフのみなさんは「煤でお化粧しているようだね」と楽しみながら作業に精を出していました。

3/1～2 受け継がれて150年アンバ様

旗を担ぐ子どもたちを先頭に神輿（みこし）、猿田彦、大天狗、小天狗、お囃子などの一行が、板荷全域を2日間かけて練り歩く春の伝統行事が行われました。

天狗が勢いよく家の中に駆け上がり、「アンバ大杉大明神、悪魔はらってヨイのヨイのヨイ」と大声で悪魔を払い家内安全を祈願しました。

板荷の人々に「アンバ様」と親しまれて150年以上もの間受け継がれ、今なお深く浸透しています。